

2026年夏の聖書セミナー申込書

8/9(日) - 13(木)

Pine Springs Ranchにて

(申し込み締め切りは7月19日)



- ◇ 8/9の午後から8/10の午前までは、パサディナの礼拝所にて、8/10の夜から8/13の午前までは、Pine Springs Ranchで宿泊します。
- ◇ 3才以下の子供は無料。尚、1才以下の子供だけによる参加はお断りします。

全参加：全部の日程に参加する場合

	一人につき	人数	合計
大人 (12才以上)	\$300	X	= \$
子供 (4-11才)	\$150	X	= \$
支払い合計			\$



子を産まない不妊の女よ。
喜び歌え。
産みの苦しみを知らない女よ。
喜びの歌声をあげて叫べ。
夫に捨てられた女の子どもは、
夫のある女の子どもよりも多いからだ。(イザヤ 54:1)



部分参加：部分的に参加する場合

- ◇ 1回のセッションにつき大人20ドル、子供(4-11才まで)10ドル。
- ◇ 参加するセッションにチェックしてください。
- ◇ 尚、料金の計算の簡素化のため、パサディナでの参加とキャンプ場での参加との区別はなしとします。

	8/9 日	8/10 月	8/11 火	8/12 水	8/13 木	
朝	聖日礼拝					参加セッション数は 全部で _____つ
午後		なし			なし	
夜					なし	
宿泊	なし				なし	
	一人/セッション		人数	参加セッション数		合計
大人 (12才以上)	\$20	X	X			= \$
子供 (4-11才)	\$10	X	X			= \$
支払い合計						\$

メモ(教会に知らせたいこととお書き下さい)



あなたは右と左にふえ広がり、
あなたの子孫は、国々を所有し、
荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ。(イザヤ 54:3)

参加者名(参加するお子さんの年齢もご記入下さい) :

電話番号: _____

E-mail: _____

住所: _____

市 _____ 州 _____

郵便番号: _____

私(たち)は、ここに、この2026年ダヴァール夏の聖書セミナーの間、ダヴァール教会、またPine Springs Ranchの定める決まりや注意事項に従い、また聖書に示されている基準に従って、互いに愛し合うことを同意します。また、会場へのドライブを含め、セミナー期間中における、私(たち)の持ち物の紛失、事故、また怪我などの責任はいっさい私(たち)にあることを認めます。

この申込書とともに、セミナー費 \$ _____ を支払います。

サイン _____
(代表者のみで結構です。)

日付 _____

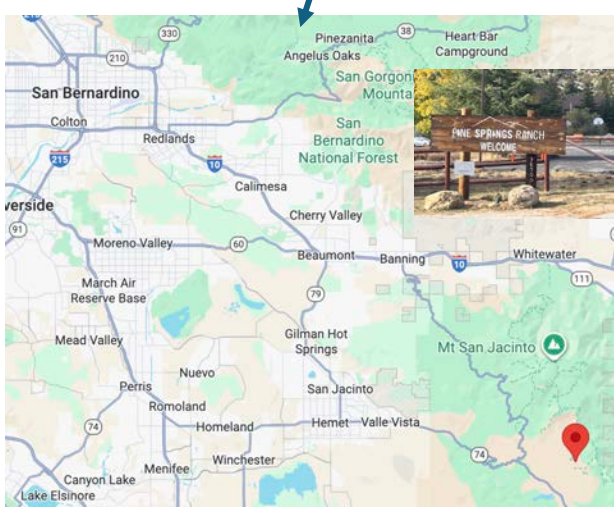
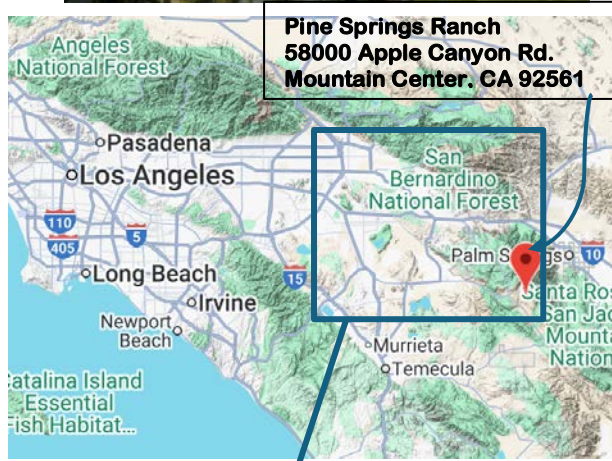


ダヴァール教会についての詳細は www.davarkg.com。
申込書は電子メールにて camp@davar.org にお送り下さい。
申込料は、チェック、または、PayPalにてお願いします。

Davar Kingdom of God:
1098 Rose Ave. Pasadena 91107



Pine Springs Ranch
58000 Apple Canyon Rd.
Mountain Center, CA 92561



Los Angeles/Ontario 方面から: Freewat10 号線東を進み、Highway79 号線出口を出る。Highway 79 号線南(Hemet 方面)を Ramona Expressway まで進み、左折する。Ramona Expressway を Florida Avenue(Highway74 号線)の突き当たりまで進む。左折し、Highway74 号線を山道を登り、Mountain Center まで行く。交差点で Highway74 号線を右折し、約 3 マイル(約 4.8km)進み、左折して Apple Canyon Road(大きな緑の標識)に入る。Pine Springs Ranch は Apple Canyon Road の突き当たり、Highway74 号線から 3 マイル(約 4.8km)のところにある。

あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ (イザヤ 54:2)。

これは、ユダの国が偶像礼拝のために滅ぼされ、生き残った人々がバビロンへ捕囚として連れて行かれた後、神様が語られたことばです。紀元前 539 年のベルシャのクロス王の勅令により、捕囚の民の一部がエルサレムに戻り、さまざまな困難の中、神殿を建て直したものの、周囲の国々の圧迫の中でイスラエルはかつてのような輝きを失い、細々と生活していました。実は、上のことばの「あなた」は女性形であり、これはエルサレムを人格化して語られたことばです。

子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ。喜びの歌声をあげて叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもよりも多からだ (1 節)。

エルサレムが不妊の女で子どもがおらず、しかも夫に捨てられた女として描かれています。それは、偶像礼拝のせいで神様から見捨てられたエルサレムの町のことです。ところが、神様がその女に「あなたの天幕の場所を広げよ」と命じられたのは、彼女に多くの子どもが生まれてくるので、その子どもたちが住めるように天幕を広げ、彼らが住めるようにするためです。

あなたは右と左にふえ広がり、あなたの子孫は、国々を所有し、荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ (3 節)。

同じイザヤ書の 66 章には、エルサレムの子どもの誕生を以下のようにも預言しています。

彼女は産みの苦しみをする前に産み、陣痛の起こる前に男の子を産み落とした。だが、このような事を聞き、だが、これらの事を見たか。地は一日の陣痛で産み出されようか。国は一瞬にして生まれようか。ところがシオンは、陣痛を起こすと同時に子らを産んだのだ (66:7-8)。

最初に生まれる「男の子」はひとりですが、それに続き、多くの「子ら」が生まれて、そこに「国」が誕生するという事です。これがエルサレムの上の実現したのはいつのことでしょうか。この「国」とか「子ら」とは、目に見えるイスラエルの国や民のことでしょうか。パウロは、私たちキリストにある者にとってのエルサレムを「上にあるエルサレム」と呼んで、次のように言っています。

しかし、上にあるエルサレムは自由であり、私たちの母です (ガラテヤ 4:26)。

さあ、これらのことばの語る真理を、信仰を持って、今日の私たちの霊的現実として受け取ると、どういう意味になるでしょうか。私たちにはどんな使命が与えられているのでしょうか。万軍の主の「あなたの天幕の場所を広げよ」という命令に、エルサレムとともに喜びの声をあげて、心一つにして、その幕、綱、くいの一部になろうという志のある者たちよ、みな集まれ！

天幕を 広げよ!

あなたの天幕の場所を広げ、
あなたの住まいの幕を惜しみなく針伸ばし、
綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。

(イザヤ 54:2)

第30回
夏の
グヴァール
聖書セミナー
2026年8月9日~13日

米国カリフォルニア州
Pine Springs Ranchにて
講師: 浅井導牧師